

12時限目
文化・芸術の時間

こもろの時間

文化財・生涯学習課では、文化財の保存・継承・活用のための、保存修理やパトロール、補助金の交付、埋蔵文化財の発掘調査等を行っています。また、市民の皆さんが生きがいをもって生活できる生涯学習社会の実現を目指して、芸術・文化に触れる機会の創出や主体的な学びを支援する取組等のほか、青少年の育成・補導、二十歳を祝う会の開催など、とても幅広い取組を行っています。今回は、その中から所管する美術館・記念館等の文化施設をご紹介します。ぜひ足を運んでみてください。



▲施設等の
詳細はコチラ
から

小諸市教育委員会事務局
文化財・生涯学習課



小山敬三美術館

本市出身で文化勲章受章、名誉市民である洋画家、小山敬三画伯が建設し、作品と共に市に寄贈したもので、画伯の代表作品をはじめ多くの作品を展示しています。建物も建築界で文化勲章を受章した村野藤吾氏の設計によるものです。敬三画伯のアトリエも記念館として移築されています。



小諸高原美術館・白鳥映雪館

地域文化の集大成と美術振興の拠点として開館した美術館で、企画展のほか、絵画や書道の講座も開催しています。白鳥映雪館には、本市出身で日本芸術院会員の日本画家白鳥映雪画伯の文展初入選以降の代表作を展示しています。隣接には「スタラス小諸」もオープン。



藤村記念館

文豪・島崎藤村が小諸で過ごした6年余の間に生まれた「雲」「千曲川のスケッチ」「旧主人」、そして大作の「破戒」などの作品や資料、直筆の原稿や実際に使っていた小物などを多数展示しています。建物は、日本最高峰の建築家谷口吉郎氏の設計によるものです。



小諸義塾記念館

本館建物は義塾閉鎖後、小諸商工学校や小諸幼稚園の校舎などとして使われた後、市に寄贈され、かつての校地の向かいに記念館として復元移築されました。木村熊二によって創設され、島崎藤村も教鞭をとった小諸義塾の資料を展示しています。



高濱虚子記念館

近代俳句の巨匠・高濱虚子の作品を読み親しむ多くの俳句愛好者から寄付を受けて開館した記念館で、虚子の偉業を顕彰するとともに小諸時代の貴重な作品・資料を保存展示しています。「虚子・こもろ全国俳句大会」、「こもろ日盛俳句祭」を開催しています。



天領の里・御影用水史料館

御影新田は、江戸時代に千ヶ滝と湯川を水源とする用水開削により新田開発され、佐久小県地方の八十七ヶ村三万石の幕府直轄領「天領」を支配する代官所として、御影陣屋が置られました。当史料館には、御影地区に残る歴史的資料を収蔵展示しています。

今年度で30回目を迎えた小諸藤村文学賞の作品を募集中です。皆様のご応募お待ちしております。
【締切】中学生・高校生の部：11月30日、一般の部：令和6年1月31日

9月1日(金) 晴れ 日直 こもろん